

▼岩国寿司づくりを指導する新庄さん



「田舎に住む人、まちに住む人、基地に住む人の交流ができる場になれば」と、岩国寿司づくりや餅つき、ひなまつりなど日本の文化を伝える国際交流活動に力を注いでいるのが新庄さんです。

ある会議で地域活性化などに尽力する人とたまたま隣り合わせになり、意気投合した事がきっかけで、天尾小学

気取らず 無理せず

校の旧校舎を活用し、米軍岩国基地の人たちと地域住民と一緒に活動する場づくりに取り組む「地域交流の里」を立ち上げました。

田植えするなら、稲刈りも。タケノコ掘りするなら竹林整備を。ならば餅つき、岩国寿司づくりやひなまつりも体験できるようにしよう。活動内容が増えるとともに、参加者も口コミでどんどん増えていきました。

さまざま活動に精力的に取り組む新庄さんは「出会いは何でもないひよんな事から始まるんよ。外国人の参加者と言葉は十分に通じんでも、一緒に活動すりゃあ通じるものがあるけん。気取らず私にできることをやりよるだけじゃけ」と、話します。

新庄さんは、赤十字救護

Vol.72

新庄 菊子さん  
(横山在住)

休校となった天尾小学校を拠点に、地域活性化を目的として活動する「地域交流の里」代表として地産・地消の推進、地域交流や国際交流活動に取り組んでいる。

看護婦養成所在学中に原爆が投下され、救護活動にあたりました。その経験から自分にできることがあればと、休日はガールスカウトのリーダーとしてボランティア活動を行ってきました。「地域交流の里」の活動以外にも「じゃげな会」「遊菓の里」で地域づくりや次世代伝承活動などを長年行ってきた新庄さんは、これまでの活動を通してできた人との縁を大切にしているそうです。

88歳になった新庄さんに、元気の秘訣やこれからの目標を尋ねると「失敗することはあるけど、失敗を繰り返さないように気を付けちよるよ。そうするとだんだん要領もよくなるけんね。これからも気取らず、無理せず、いろいろな事に挑戦し、努力したいね。口では明日の事は分かんと言いなながら、明日の事を夢見ちよるよ。自分らしく過ごしてゴロツと逝けたら一番幸せ」と、笑って話してくれました。



▲交流会の様子



▲稲刈り体験